

本年度の学校評価

本年度の重点目標	仲間との学びを通して、自ら成長しようとする児童生徒の育成 効率的・効果的な業務改善		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 本校の特色を生かした専門性の向上と授業実践のあり方を明らかにする。 個別の教育支援計画や個別の指導計画を活用し指導と評価の一体化を図りながら学習活動を推進する。 小垣江東小との学校間交流や、居住地校交流を計画的・組織的に推進する。 外部専門家との連携・強化を図る。 多様なニーズに応じた進路指導の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 客観的なツール(個別の指導計画や学習の内容段階表等)の利用や、教職員間での授業の振り返りを通じて授業改善を繰り返す。 個別の教育支援計画をより活用できるように周知していく。また、共通の指標である学習の内容段階表を活用しながら個別の指導計画を作成し、生きる力を育む学習指導を推進する。 学校間交流および居住地校交流は、直接的な関わりを重視し、児童生徒の主体的な取組を促していく。 刈総セラピストとのケーススタディなどを通して、外部専門家と意見を出し合い、多角的な視点での授業改善につなげる。 キャリア発達の促進に向けて、児童生徒の実態に応じた職場体験や作業学習の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 校内研究グループは、学習集団を基本として編成し、部ごとでの実践とする。グループごとで具体的なテーマを設定し、3年間継続して取り組む。 個別の教育支援計画等を含めた支援ファイルが、活用しやすいものになるように保護者や関係機関の意見も踏まえて整えていく。生活経験や知識・技能を高めるため、個別の指導計画に基づき、適切に校外学習や体験活動を計画して実施する。 交流及び共同学習は、さまざまな活動において相手校と密に連携を図りながら進めていく。 外部専門家の助言内容等を他の児童生徒の指導や支援にも汎化できるよう共有方法を充実させる。 小・中学部の段階から卒業後の生活が意識できるように、高等部を見据えた体験活動や作業学習を検討していく。
信頼される学校づくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 保護者、医療・福祉関係者、施設・事業所等関係者、地域住民等による学校評価を実施し、学校運営の改善に努める。 地域における特別支援教育のセンター的機能の整備・充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者・教職員アンケートの分析や学校評価を多角的な視点で行い、まとめたものを学校運営の改善に生かしていく。 要請訪問相談(かりとく相談)、障害乳幼児相談(かもめ相談)などにより、地域の小中学校や障害のある乳幼児の保護者などに積極的な支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校関係者が評価をしやすいように、行事等の折に児童生徒の学校生活を参観していただくとともに、学校の取組を分かりやすく紹介するように心がける。学校だより等や写真データの扱い方については、公開とセキュリティ強化の両面からよりよい方法を検討していく。 来談者が相談のよさを実感する相談の在り方を考えていくとともに、さまざまな相談に対応する教員の専門性の向上を図る。
一人一人の安全・安心な教育環境の整備に努める。	<ul style="list-style-type: none"> 医療的ケアの安全な実施体制の整備に努める。 震災に対する関心を高めるとともに、安全教育の推進に努める。 学校がどの児童生徒にも楽しい学びの場であるように、人権教育を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 看護師による医療的ケアを実施し、看護師と教員の連携システムを構築する。教員の研修として、第三号研修を継続実施する。校外学習と校内の医療的ケア体制を安全に行えるように計画と連絡調整をする。 大震災に備え、避難訓練や福祉避難所開設の研修を実施し、課題を見出す。 いじめ・不登校の早期発見や支援・対応ができるようにするための体制づくりをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 教員が実施可能な協働業務の検討や、新転入する医ケア児の情報を集め、早めに受入体制をつくることなどに努める。医ケア児の校外学習が計画的に実施できるように、担当者間の連絡・調整を密に行う。 危機管理マニュアルを、活用しやすい形に変更していく。福祉避難所開設時に、教職員がどのように動けばよいかについて整理し、分かりやすく示す。 生活アンケートの結果から児童生徒の思いを共有し、支援に生かす。
<p>学校関係者評価を実施する主な評価項目</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人一人を大切にされた教育の在り方 関係機関との連携方法 信頼される学校づくりの展開状況 医療的ケアの安全・安心なシステムの構築状況 学校の危機管理体制 			